

主催 三池炭鉱の「近代化遺産」を活かしたまちづくり実行委員会

共催 大牟田市、大牟田市教育委員会

大牟田市石炭産業科学館、(財)大牟田文化会館、「こえの博物館」上映実行委員会、NPO 法人 大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ、もでらーと・かんたーびれ



実物は、ハンパない!



近代化遺産との出会いトークと 「三池 終わらない炭鉱の物語」上映会

～開山からの15年、それぞれの宝さがし～

平成24年

3月30日(金)
開演 18時30分

(開場18時、終了予定21時)

大牟田文化会館 大ホール

出演者 熊谷 博子(映像ジャーナリスト)、永吉 守(NPO 法人 大牟田・荒尾炭鉱
のまちファンクラブ前理事長)、山田 元樹(大牟田市職員)

司会 椿原 恵(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター代表)

入場無料

♪ ウェルカムコンサート 18:05 ~ 大ホールホワイエ

◆ 角 和江さん(市内在住ピアニスト)のステキな演奏でお出迎えします♪

関連イベント

プラネタリウム
特別投影

裏面をご覧ください!

② お問い合わせ/石炭産業科学館 ☎0944-53-2377 /文化・スポーツ課 ☎0944-53-1503

三池炭鉱が閉山して今年で 15 年目を迎えます。



このまちに炭鉱があった当時から、炭鉱関連の古い建物や港は人を惹きつける魅力やエピソードにあふれていました。このまちの石炭産業の歴史には、日本中が注目するような出来事がいくつもありました。私たちは、そんな大牟田にしかないモノ、そして、このまちに風格を与えてくれているモノを、これまでも大切に思ってさまざまな活動をしてきました。閉山から15年、この節目の年に、これまでの活動を振り返ってみたいと思います。そして、大牟田の石炭産業の歴史と文化を見つめなおし、これから先の大牟田のまちのことを、皆さんもこのひと時一緒に考えてみませんか。

近代化遺産との出会いトークと 「三池 終わらない炭鉱の物語」上映会

～閉山からの 15 年、それぞれの宝さがし～

PROGRAM

18:05 開演前のウェルカムコンサート（大ホールホワイエ）

ピアノ演奏／角 和江（すみ かずえ）

4 歳よりピアノに親しむ。高校進学時に音楽の道を目指すことを決意。本格的にクラシックを学びコンクールや演奏会など、さまざまな舞台経験を積む。2007 年からはジャズピアニストとして演奏活動を開始。現在バンドのライブやプライマルパーティーでの演奏などを中心に活動を展開。最近「自分らしさ」を追及するため、オリジナル作品も手がける。

ホワイエで
同時開催

ミニ写真展

昔の炭鉱や大牟田の写真を展示します！

18:30 開演 大牟田市長あいさつ

近代化遺産との出会いトーク（40分）

出演者



熊谷 博子（くまがい ひろこ）／映像ジャーナリスト

1951 年東京生まれ。1975 年より日本映像記録センターにてディレクターとして TV ドキュメンタリーの制作を開始。戦争、原爆、麻薬などさまざまな社会問題を追ひ、1985 年にフリーの映像ジャーナリストとして独立。2001、2002 年の 2 年間、大牟田市が取り組んだ「こえの博物館」事業で 6 作品の監督を務め、それらの作品は数々の賞を受賞。2005 年「三池 終わらない炭鉱の物語」を完成。全国で上映会が開催される。



永吉 守（ながよし まもる）／NPO法人 大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ運営委員・前理事長

1970 年生・大牟田市出身。三池高校卒業後、西南学院大学文学部、熊本大学大学院で文化人類学を学ぶ。中富記念くすり博物館学芸員補を経て西南学院大学大学院博士課程に在学しながら、2001 年に「炭鉱のまちの風景と心象を次世代に継承」することを目的とした「大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ」を結成。三池炭鉱の遺産を国際産業遺産保存委員会事務局長スチュアート・スミス氏に紹介。久留米高専・福岡工大ほか非常勤講師（文化人類学など）、九州伝承遺産ネットワーク副会長、博士（国際文化）



山田 元樹（やまだ もとき）／大牟田市職員

1962 年 福岡県筑後市出身。大学では、考古学を専攻。大学卒業後の 1986 年大牟田市に文化財専門職（学芸員）として採用。2002 年 3 月まで、大牟田市において先史・古代遺跡の発掘調査を中心に、文化財の調査、保存業務に従事。その後一般事務部門に異動。現在に至る。この間、1990 年ごろから、業務として近代化遺産に関わりを持つようになる。三池炭鉱閉山後の 1998 年 5 月に成就した宮原坑の国重要文化財指定、及び 2000 年 1 月に成就した国史跡指定の申請関係事務、公有化関係事務には中心的に従事。

司会



椿原 恵（つばきはら めぐみ）／コミュニティコミュニケーション・サポートセンター代表

武蔵野美術大学中途退学後、フリーのフォトグラファーとして、ドミニカやボリビアの日系社会で生きる人々や国際協力の現場で活躍する人々を撮影。2002 年より NGO（非政府組織：Non-Governmental Organizations）に参加し、2003 年『国境を越えて EXODUS』難民・亡命・移民セバスチャン・サルガド写真展開催と同時に福岡アジア美術館にてワークショップ「難民ってどんなひと？」、2004 年アクロス福岡にて「NGO が見た世界」ワークショップ＆写真展などを企画し、写真を通して社会の問題を考え、話し合う場を提供してきた。現在は、大牟田市の協力のもと、日本の地域づくりと開発途上国の地域開発に取り組む人々が学びあう場を提供している。

映画上映「三池 終わらない炭鉱の物語」（103分）

21:00 終演予定

❓ お問い合わせ

石炭産業科学館 ☎ 0944-53-2377
文化・スポーツ課 ☎ 0944-53-1503

関連イベント

地域の近代化遺産や月の満ち欠けを紹介するプラネタリウムオリジナル番組を投影！
～地域の宝ものさがし～ 近代化遺産群と【三池炭坑に、月が出た！】
入場無料！ 大牟田文化会館 3 階 プラネタリウム ※日時にご注意ください
★3月24・25・26日 13:00～ ★3月30日 17:30～（約 35 分）
（開場は 15 分前／開始時間に遅れると入場できません／星空解説はありません）

大牟田のまちには、
大変な時期や出来事を経験しながらも誇り高く生きた人たちが大勢いて、
そして、さまざまな出来事を経てなお、このまちはまだ営みを続けているのだと思うと、
私は、このまちに対して、いとおしい似た感情が生まれてくるのを感じました。

【映画の感想から】

